

ママの「こんなところあったらいいな」を実現した託児所を開設！

託児所かぼちゃ畑は、橋本園長自らの経験から現役ママの要望を実現した託児所を開設、様々なサービスを取り入れた託児所の運営を行っています。今回は園長の橋本聡美氏に話を伺いました。

創業の動機

以前は社会福祉士として高齢者施設で相談業務を担当していました。仕事にやりがいはいりましたが、勤務時間が不規則であり、小さな子供を持つ母親が育児と両立していくには困難な状況でした。当時、子供は認可保育所に預けていましたが、夜間等は預かってもらえないため、保育所に預かってもらえない時間は、母に子供の面倒を見てもらっていました。自分の勤務形態に合った託児所はないかと探しましたが、安心して預けられるところはありませんでした。

高齢者施設を退職した後は、前職での経験を生かし、友人と高齢者支援の団体に活動していました。そこでは高齢者施設を巡回して日用品やお菓子などを販売する移動売店や元気な高齢者の働く場が確保できるよう、高齢者作業所を設置し、高齢者が作った漬物や手芸品などの販売事業等を行っていました。

しかし、自らの経験から自分と同じような悩みを持つ働くお母さんたちを支援したいという強い思いから、託児所を開設することを決心し、知り合いの不動産会社の人に託児所開設に向けてのコンサルティングを依頼。起業準備からわずか8カ月で土地探しから資金調達などを行い、園舎が完成した2006年12月に「託児所かぼちゃ畑」を開設しました。

ママの要望を実現したサービスを提供

託児所では通常、月極または一時預かりの利用料を支払う場合がほとんどですが、時間当たりの利用料も高く、パート勤務のママには大変な負担となってしまいます。そこで当園では、毎月の利用時間が長くなるほど利用料がお得になる独自の料金システムを取り入れています。例えば0歳児

の場合、1時間700円からスタートし、利用時間に応じ最大で70円まで安くなり、平日に毎日利用しても認可保育所の月額保育料と同程度となりますので、パート勤務のママも利用しやすいようにしています。

福岡市では認可保育所の入所条件が厳しく、ママがパート勤務である場合は入所出来ないことが多いため、現在は1歳から3歳までの未就園児を中心に1日に約30名の子供たちが通園しており、パート勤務のママに多く利用していただいています。これから年度末に向けて、認可保育所が定員オーバーで受け入れができなくなるため、フルタイム勤務のママの利用も多くなりますが、土日祝日も保育を行っていますので、土日仕事があるママのほか、急用が入った場合やママがリフレッシュしたい場合もいつでも利用できます。

そして、学童(小学6年生まで)の預かりも行っていますので、学童保育での保育終了後(福岡市では今年9月から午後7時まで)にママが帰宅するまでの居場所として、またパート勤務の場合、夏休みなどの長期休暇のみの利用が出来ない学童もあるため、長期休暇のみの場合も受け入れて



かぼちゃ畑 園舎



企業情報

代表者 橋本 聡美
所在地 福岡市西区石丸3-24-1
従業員数 8名
TEL 092-883-1733
FAX 092-883-1733
URL <http://www.jiyusha.jp>



手作りの給食でみんなおいしく食べる

います。

そのほか、送迎サービスも行っています。送迎先は自宅や保育園、ママの職場などどこでも可能ですので、公共交通機関で通勤するママが園まで送迎するのが大変な場合のほか、出産前後の一時預かりでパパやママが送迎できない場合などさまざまな場合にも対応しています。

給食は毎日、給食室で作ったものを提供しており、糸島の提携農園から仕入れた玄米や生協から仕入れた安全・安心な食材のほか、園庭の畑でとれた野菜を使用するなど、食育にも取り組んでおり、経験豊かな栄養士による独自のメニューで「おいしく食べる」「楽しく食べる」「正しく食べる」をモットーにしています。

また、当園には園庭もありますので、夏には水



園庭で遊ぶ子供たち

遊びを行うなど、子供たちも毎日、のびのびと外遊びを楽しんでいます。

子供たちの登降園はパソコンで管理しており、保育室にライブカメラを設置し園児の様子を撮影していますので、パパやママは会員専用携帯サイトにアクセスすれば、子供の様子を確認することができ、安心して仕事をすることができます。このサイトには意外なことにパパからのアクセスが多く、仕事の合間に利用していただいている方が多いようです(笑)

開園当初は案内チラシも作成し、チラシのポスティングなどを行っていましたが、利用していただいているママからの評判も良く、現在は口コミによる利用申し込みや当園ホームページからの申し込みにより、多くのママに利用していただいています。

今後の抱負

現在は、来年のNPO法人化に向け、準備を進めています。そして、現在行っている託児事業だけでなく、子育てから派生する事業も積極的に取り組んでいきたいと思っています。

また、園の運営面においては、土日でも保育を行っているため、なかなか難しいのですが、子供と保護者が一緒に参加して楽しめるような行事を企画していきたいと考えています。

創業を希望する方へのアドバイス

私の場合は、コミュニティビジネスですが、自らの経験に基づいた「こんな託児所あったらいいな」という思いと地域のママのニーズが一致し、託児所を開設して形にしたいと思うようになりました。

その中で、ニーズから出た強いコンセプトを持ち、コンセプトに見合った企画を具体的に作っていくことが実現に向けて重要なことだと思います。